

スライディングドア

マグネットタイプ下ガイドピン

プラス
3+

Silent (静か)
Safety (安全)
Smooth (なめらか)
+ 3つのSから生み出される
Satisfaction (満足)

下レールなしのすっきりデザイン。

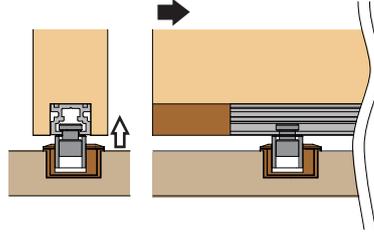
データ： 扉対応厚 26mm以上 / 使用個数 扉幅に合わせる

(扉幅が広い扉の場合、複数使用すると走行が安定)

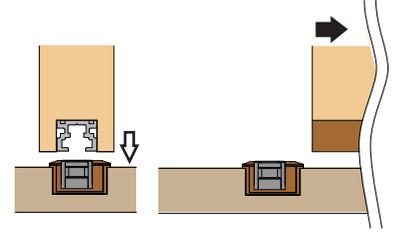


《特長》

引き戸がガイドピンの上を通過する時
ガイドピン引き戸の下に嵌ります。



引き戸がガイドピンの上が無い時
ガイドピンが床側に戻ります。



マグネットタイプ下ガイドピン本体

1 個

マグネットタイプ下ガイドピンケース

1 個

品番	873015_	材質	本体：耐火ABS/鉄/亜鉛 ケース：PA66	処理/色	クローム、3: ブラウン 8: ベージュ
----	---------	----	---------------------------	------	-------------------------

マグネットタイプ下ガイドピン受け(ネオジウム磁石付)

2 個

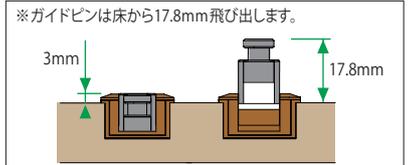
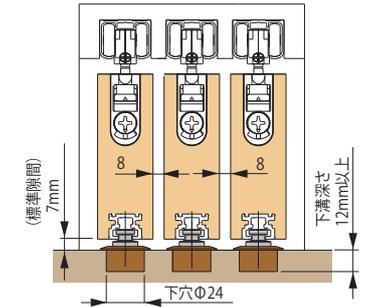
マグネットタイプ下ガイドピンレール
(レール長さ 1000mm)

1 個

品番	8730195	材質	PA66・磁石	色	ブラウン
----	---------	----	---------	---	------

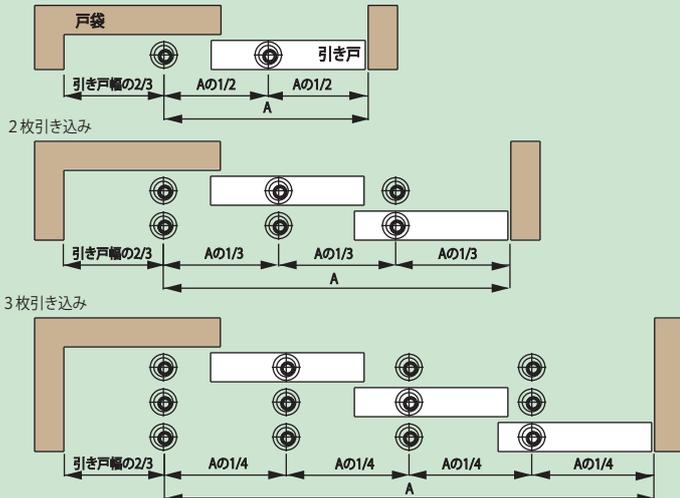
品番	8730180	材質	ABS	色	ナチュラル
----	---------	----	-----	---	-------

ガイドピンの作動状態
床面と引き戸の隙間は5mm~10mmまで対応します。(標準隙間7mm)

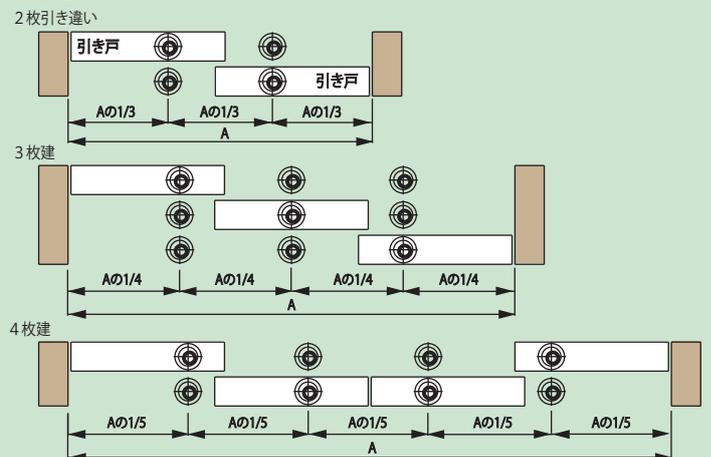


取り付け参考図 (最小取り付け個数)

片引き (戸袋仕様) 戸袋部分は引き戸幅の2/3の位置・他は均等割り



引き違い 均等割り



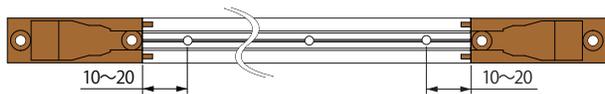
施工手順

STEP. 1 ガイドピンレールを加工する

① ガイドピンレールを必要な長さに切る。



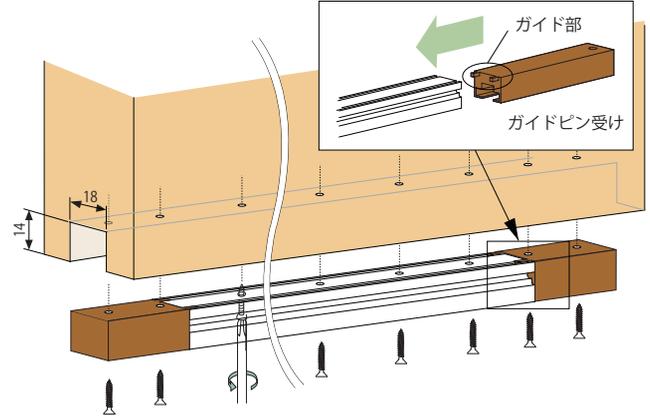
② レールにレール取り付け用の穴を開ける。



※レール両端の取り付け穴はガイドピン受けから10~20mmの位置に開けて下さい。ガイドピン受けが正しく固定されません。

STEP. 2 扉下木口面にガイドピンレールとガイドピン受けを取り付ける

レールの両端にガイドピン受けのガイド部を差し込み、扉下木口面の溝に取り付ける。

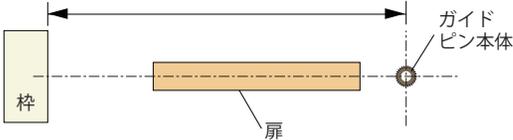


※ガイドピン受けとガイドレールに段差や隙間が無い様にして下さい。
※電動ドリルを使用する際は、締め付け過ぎによる金具の変形または、破損が無い様にして下さい。

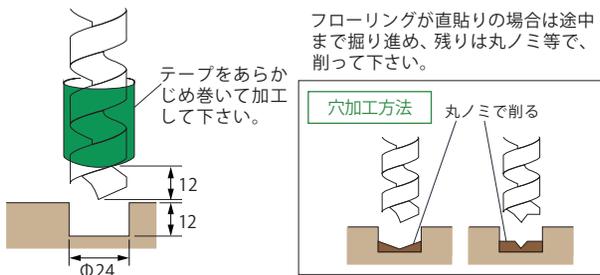
STEP. 3 ガイドピンケースを取り付ける

① 枠から、ガイドピン本体の中心と扉の中心に合わせて取り付け位置を決める。

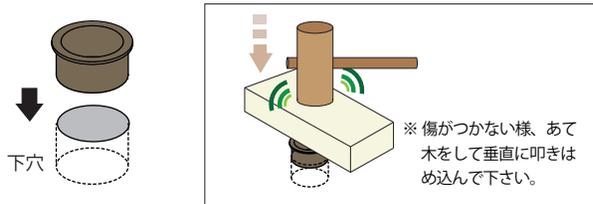
上から見た図



② ①で決めた取り付け位置にドリルで穴を開ける。



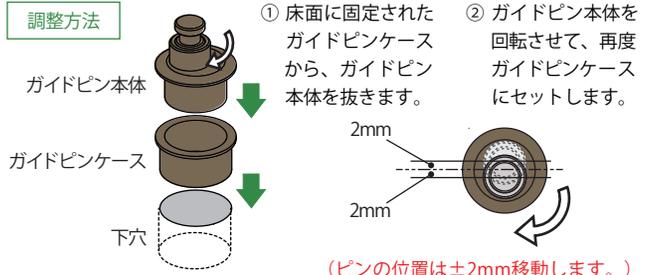
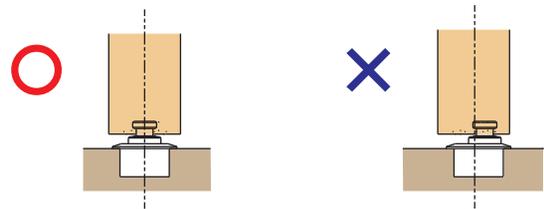
③ ②で加工した穴にガイドピンケースをはめ込む。



※ガイドピンケースを取り付ける前に、穴の中のゴミは綺麗に除去して下さい。

STEP. 4 ガイドピン本体をガイドピンケースに取り付ける

ガイドピンが扉の厚みの中心にくる様に調整してはめ込みます。



ガイドピンの外し方

マイナスドライバーを切り欠き部に差し込んでガイドピンを外して下さい。



※ドライバーの先端6mm幅以下のものをお使い下さい。
※床に傷を付けない様にして下さい。

ご使用・安全に対するご注意

- 扉を走行方向以外に力を加えながら扉を開閉すると、ガイドピンが外れる恐れがあります。(通常の走行方向に扉を開閉すれば復元します。)
- 床へワックス掛けをする際は、ガイドピンをマスキングテープ等で覆い、ガイドピン内にワックスが入らないようにして下さい。
- ガイドピンが下がらなくなった場合は、隙間から異物が入った可能性があります。この場合はケースの切り欠き部分にマイナスドライバーをはめ込みガイドピンを外し、異物を取り除いて下さい。(床を傷つけないように当て布をして下さい。)

- ガイドピン周りにゴミや埃が溜まる場合がありますので、定期的に掃機で吸引して下さい。
- 扉の下部両端に設置されるガイドピン受けには強力な磁石を使用しております。心臓ペースメーカーをご使用している方はご注意ください。また、時計や電子機器など磁気に影響を受けるものは近づけないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
- ガイドピン及びレール内への(グリス、シリコン等)の塗布、スプレーはシステムが正常に作動しなくなる恐れがあるので使用しないで下さい。